

## グリホサートイソプロピルアミン塩液剤 (三共の草枯らし) による果樹園雑草防除

園芸試験場

### 1 取り上げた理由

本剤の雑草生育期処理について検討したところ、従来の剤に比較して同等の実用性が認められたので、参考資料とする。

### 2 参考資料

- 1) 薬剤名：グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（商品名：三共の草枯らし）
  - a 有効成分：グリホサートイソプロピルアミン塩・・・イソプロピルアンモニウム=N（ホスホノメチル）グリシナート41%
  - b 安全性：人畜毒性・・・普通物  
魚毒性・・・低毒性
  - c 作用特性：浸透移行型の有効成分・グリホサートイソプロピルアミン塩がタンパク質の合成を阻害し、組織が破壊、枯死に至る。
  - d 安全使用基準：収穫7日前まで
- 2) 対象雑草
  - a 対象樹種：リンゴ、ナシ、ブドウ、モモ、カンキツ
  - b 対象雑草：一年生、多年生雑草
- 3) 使用方法
  - a 使用時期・回数：草丈30cm以下の雑草生育期・本剤及びグリホサートを含む農薬の総使用回数は3回以内。
  - b 使用量：一年生雑草対象・・・250～500ml/10a  
多年生雑草対象・・・500～1,000ml/10a
  - c 希釈水量：通常散布・・・50～100ℓ/10a  
少量散布・・・25～50ℓ/10a「少量散布ノズル」を使用する

### 3 利活用の留意点

- 1) 展着剤加用の必要はない。また、他の農薬や肥料とは混用しない。
- 2) 本剤は土壌に落下すると不活性化するので、雑草発生前の散布は効果がない。
- 3) 散布後、効果が発現するまで数日かかることがあるので、この期間内に誤って刈り取りや再散布はしない。
- 4) 散布後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めて散布する。
- 5) 多年生雑草のうちスギナに対しては効果が劣るので、濃厚少量散布（薬量500～1,000ml/10a、水量25～50ℓ/10a）の必要がある。

（問い合わせ先：宮城県園芸試験場栽培部 電話022-383-8132）

#### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 果樹の植物生育調節剤に関する試験（受託）平成11年
- 2) 参考データ

表-1 ウメ園春処理による一年生雑草に対する殺草効果と再生程度（平成11年）

試験区 (薬量/ 水量)	殺草効果			再生又は抑草の程度		抑草 期間	試験終了時 草高(cm) 6月28日
	発現日数	完成日数	程 度	発現日数	程 度		
25/2.5	1	45	×	20	1	50	20~60
25/5.0	1	45	×	20	1	60	20~40
25/10.0	1	30	×	20	1	60	10~42
50/5.0	1	30	×	20	1	60	20~42
対照)							
25/2.5	1	45	×	20	1	50	25~60

表-2 ウメ園夏処理による多年生雑草に対する殺草効果と再生程度（平成11年）

試験区 (薬量/ 水量)	殺草効果			再生又は抑草の程度		抑草 期間	試験終了時 草高(cm) 10月5日
	発現日数	完成日数	程 度	発現日数	程 度		
50/2.5	3	30	・	20	1	50~60	10~25
50/5.0	3	30	・	20	1	50~60	10~50
50/10.0	3	30	・	20	1	50~60	8~46
100/5.0	3	30	・~×	20	1	60以上	5~25
対照)							
50/2.5	3	30	・	20	1	60	8~26

注) 発現・完成日数は処理後の日数

対照薬剤は「ラウンドアップ」

・：殺草効果は株全体に及ぶ， ×：株は枯死し再生はみられない

再生程度1：再生程度が著しく（被度50%以下，草高10cm以下）

※経費試算 三共の草枯らしの小売価格は500ml，約1,050円

ラウンドアップの小売価格は500ml，約1,620円

- 3) 発表論文等 なし